

松本哲治浦添市長に対する問責決議

12月2日に開会された第211回浦添市議会定例会で（仮称）浦添市多目的運動施設新築工事の諸問題についての緊急質問が行われ、第208回定例会にて先議案件として可決された（仮称）浦添市多目的運動施設新築工事について、議案として諮られた時点において構造計算も完了しておらず、建築確認申請も終わっていない中で議案審査が行われていたことが明らかになった。

このような状況は浦添市議会側には一切報告されてないまま、我々議会から承認を得たことは非常に遺憾であるばかりか、本日の緊急質問の中で新たに議案を議会に提出することを決定する意思決定機関である庁議メンバーの中にもほとんど共有されていない実態が明らかになった。

合議体であるべき浦添市役所の最高意思決定機関である庁議に諮る際に市長を含めてほとんどの庁議参加者にこのことを知らされなかったことは、行政運営として信じられない行為であり、市長名で提出された議案に対して市長にも十分な説明がなされていなかったことは行政運営として信じられない行為であり、到底許されるものではない浦添市のガバナンスが問われる由々しき事態だと深刻に受け止めなければならない。

今回の混乱の結果として、浦添市は当初予算よりも推定10億円近くの工事費増を負担する可能性が生じてきており、その工事費増額分について現時点では補助金交付を行う防衛省からも工事費増額分負担の内諾を得ておらず、また財政厳しい本市が自己負担分を捻出できるのかの見通しも不透明なままで同事業については不安材料しか残らない状況となっている。

よって本市議会は一連の混乱を掌握していなかった松本哲治浦添市長に対し、市長として担うべき任務を遂行できていなかったことに対し、問責を決議する。

浦添市議会

2024年12月2日

宛先
浦添市長